



編集・発行/本部 広報・企画・編集室 中村聖子

『いま、この瞬間と中長期計画』

片山 喜章

いま、この瞬間、子どもどうしの対話が弾んでいる。さて、 これからどんな風に物語は発展するのかな…、わくわくしてい るわたし。

子どもたちの歌声が響く。**月**今月の歌だけど聴き入るどころ じゃない。譜面を睨み鍵盤に指先を全集中している、わたし。 子どもたちと、いま、この瞬間を生きて居るわたしだけど、 実は、月案という枠の中でも暮らして居るらしい。いま、この 瞬間の出来事は、完成品の年間計画(年カリ)の中にも居る。いま、 この瞬間、どんな姿に化けて息づいているのか、クリアじゃない。

一方、年間計画どころか保育と運営に対して『3年先~5年 先までの"中長期計画"を作りなさい』とマジに世の中が迫って います%公%#\$\$? いま、この瞬間の 1 人ひとりの希望や意 欲や成長を分厚いパラパラ漫画に描いてみたら、どうでしょう。

きっと「みんなでみんなを」の精神が膨張し、タマゴ化し、 晩秋の夜空に漂うことでしょう。

Tanenokai Topics

新会計システム導入

会計システムが「福祉大臣」というシステムに変わります。年末から徐々に移行、来年度本格始動の予定です。時代に見合った、質の高い効率的な運用(クラウド化、支払いデータ作成、データ受け渡し削減に伴う業務の効率化 など)を目指します。

社会福祉法人会計簿記研修開催

10月25・26日に社会福祉法人会計簿記研修(初級)が開催されました。 12月1日には、法人内部で弱点克服研修も予定しています。

理事長よりメッセージ ー会計システム強化についてー

一見、事務の先生方、管理職の先生 方が直接関係する話で、現場にあまり 関係ない話のように思えると思います。 確かに直接会計システムを触るという 機会は多くの保育者にありませんが、 日頃の保育が豊かになるための様々な 環境を支えるために会計もしっかりと しておくことが必要だということは言 うまでもありませんよね。

法人全体として保育と運営(経営) の両輪がしっかりと動くことが大切。 事務員、管理職や一部の保育者も保育 思考に加えて会計思考を育んでいると ころです。12月には試験を受けて自分磨きをしていこうとしている方々もおられます。

そのような中で、令和の時代に見合った運用をしていこうとしています。何事もそうですが、やり始めるときには、様々な問題や課題が発生することが想定されます。新たなことを学んでいく機会(研修等)も必要となってきます。是非皆さん、情報として知って頂ければと思いますし、特に施設長や事務の先生方は変化に柔軟に対応すべく、しっかり向き合って頂ければと思います。私も勉強を重ねていきます。

introduction

なな こども園

1つずつ、施設をピックアップして紹介していきます。今回は、大阪府藤井寺市の「ななこども園」です。 "話し合いの文化がある"と言われるななこども園。 様々な取り組みには「思いを出せる場が居場所になる。 自分と友達、自分と保育者など、人の関係性・つなが りを考える」という大きな幹があるように感じます。 ぜひご覧ください!

グループと 話し合いの文化

ななこども園では乳児から同年齢の グループを生活の基盤としています。 グループは個々の子どもたちの"居 場所"であり友達と関わる場を保障 し、活動の拠点になります。人同士 の関係が密になる設定です。

幼児になると、友達の意見を聞き、自分の 思いを出しながら自分達だけで大人顔負け の話し合いをする姿が普段から見られます。 また、園行事やクラスでの取り組みに合わ せて話し合う機会も設けられます。



▲「どうする?」「どうしたい?」「本当にそれでいいの?」 子どもに聞く保育者の姿が特徴的。



◀ 1 歳児。 毎日ゆっくりと 顔を合わせられ る食事の場面か らグループ活動 を始める。

が て グ 2 歳 児 。 マ 一 カー 東 ま り り 集 ま り



▲5歳児クラス。グループで育てる野菜を決めたり、クラス全体で行事での取り組みを決めたり。

具体的な様子は #ユナタンで!





■開園時から続く 場面記録 & 考察会

場面記録

ななこども園の「場面記録」は、保育中の一場面を文字に 起こした記録です。保育者が心に残った場面を、子ども同士、 子どもと保育者の関わりや声掛け、保育者の思いなどを織 り交ぜて書かれます。

考察会

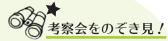
場面記録を使って、数名の保育者グループで意見を出し合う場です。保育者の関わり方や子どもの捉え方など、質問や感じたこと、意図した働きかけについて語り合われます。少人数だからこそ自分の思いを出しやすいのは、子どもも大人も同じですね。



▲ひらめき研では公開考察会が開催された。「自分だったら○○って声をかけるかなぁ」など先輩の関わり方も知ることができる。



▲ 1 歳児のあるグループの場面記録を使った考察会。 お手伝いをしてあげる・してもらう友達間の関係性に ついての話し合い。



「みなさん初めからこんなに 書けて、話せるんですか!?」 と思わず聞いたほど。 動画でご覧ください!





様々なきっかけに

成功や失敗ではなく、場面記録を書くことで保育者自身の振り返り、 子ども理解や保育を深めるきっかけとなっている。また、複数の保育 者で意見や想いを語り合うことで、保育者同士の相互理解と、大切に している(したい)ことの暗黙知が形成され、保育者集団の同僚性や つながりを育むきっかけにもなり得る。

(ひらめき研に寄せられた徳畑園長のメールより)